

Our Purpose and Mission

DNPの存在意義と使命

「より良い未来」に向け 「P&Iイノベーション」で事業を拡げる

DNPグループビジョン

「企業理念」を中心に、「事業ビジョン」と「行動指針」で構成。



DNPグループ行動規範

ビジョン実現に向けた
あらゆる活動の前提となる、
全社員がとるべき誠実な行動の規範。

- 1. 社会の発展への貢献
- 1. 企業市民としての社会貢献
- 1. 法令と社会倫理の遵守
- 1. 人類の尊厳と多様性の尊重
- 1. 環境保全と持続可能な社会の実現
- 1. ユニバーサル社会の実現
- 1. 製品・サービスの安全性と品質の確保
- 1. 情報セキュリティの確保
- 1. 情報の適正な開示
- 1. 安全で活力ある職場の実現

果たすべき3つの責任

あらゆるステークホルダーから
常に信頼される企業であり続けるために、
DNPが果たしていく3つの責任。

1. 価値の創造

2. 誠実な行動

3. 高い透明性(説明責任)

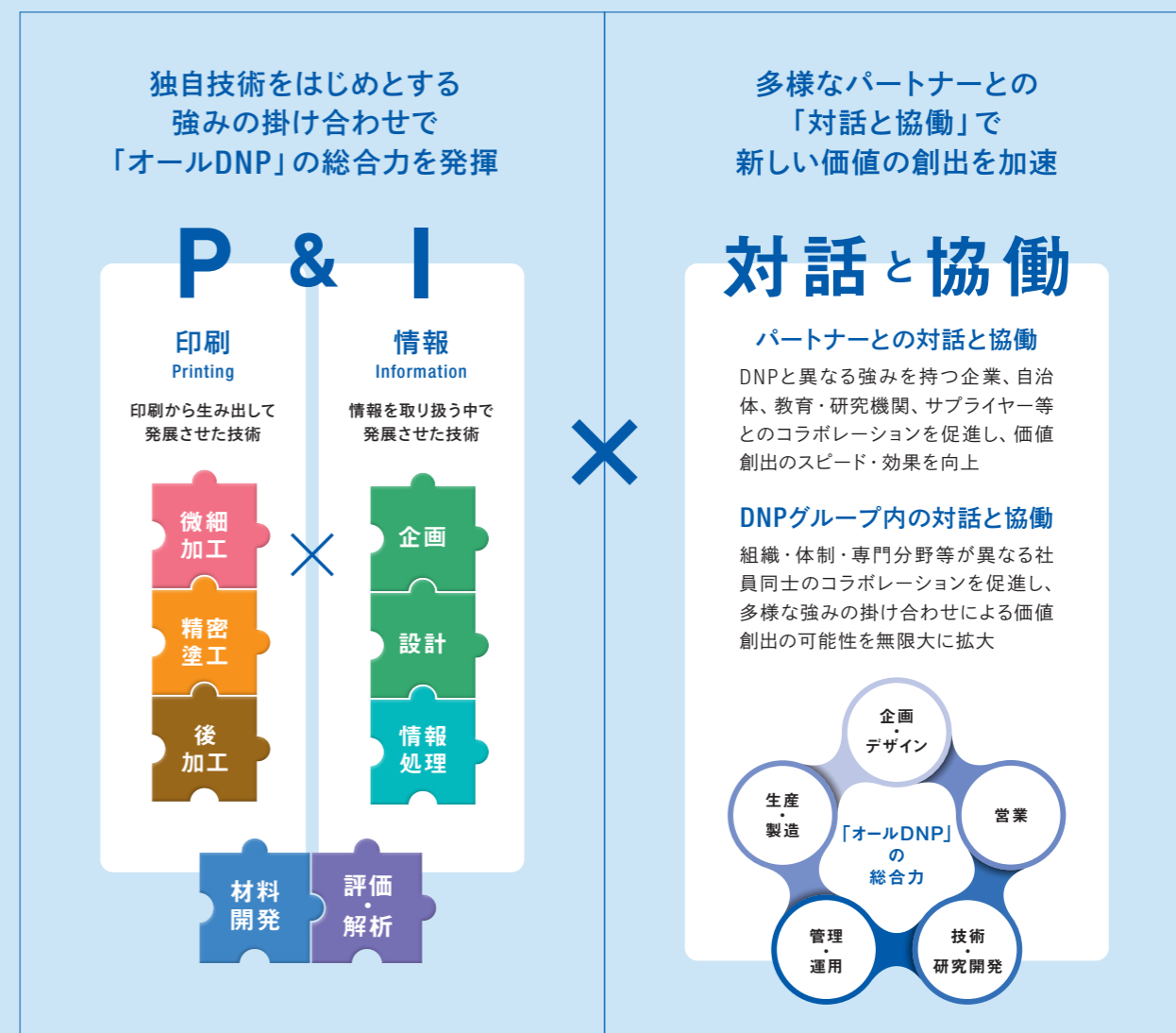
ブランドステートメント

未来のあたりまえをつくる。

企業理念に基づき、持続可能なより良い社会とより心豊かな暮らしを実現するために、
長期を見据えて、自らがより良い未来をつくり出すための事業活動を展開しています。

P&Iイノベーション

DNPが独自に培った「印刷と情報」の強みに加え、社外のパートナーの技術・アイデア等も掛け合わせて、今までにない価値を創造する変革を進め、より良い未来を自らつくり出していきます。印刷プロセスに立脚する多様な技術を常に最先端のものに磨き、営業・企画・製造・管理等の強みと掛け合わせて、最大の相乗効果を発揮します。アナログとデジタル、リアルとバーチャル、モノづくりとサービス等、DNPならではのハイブリッドな強みを活かしていきます。

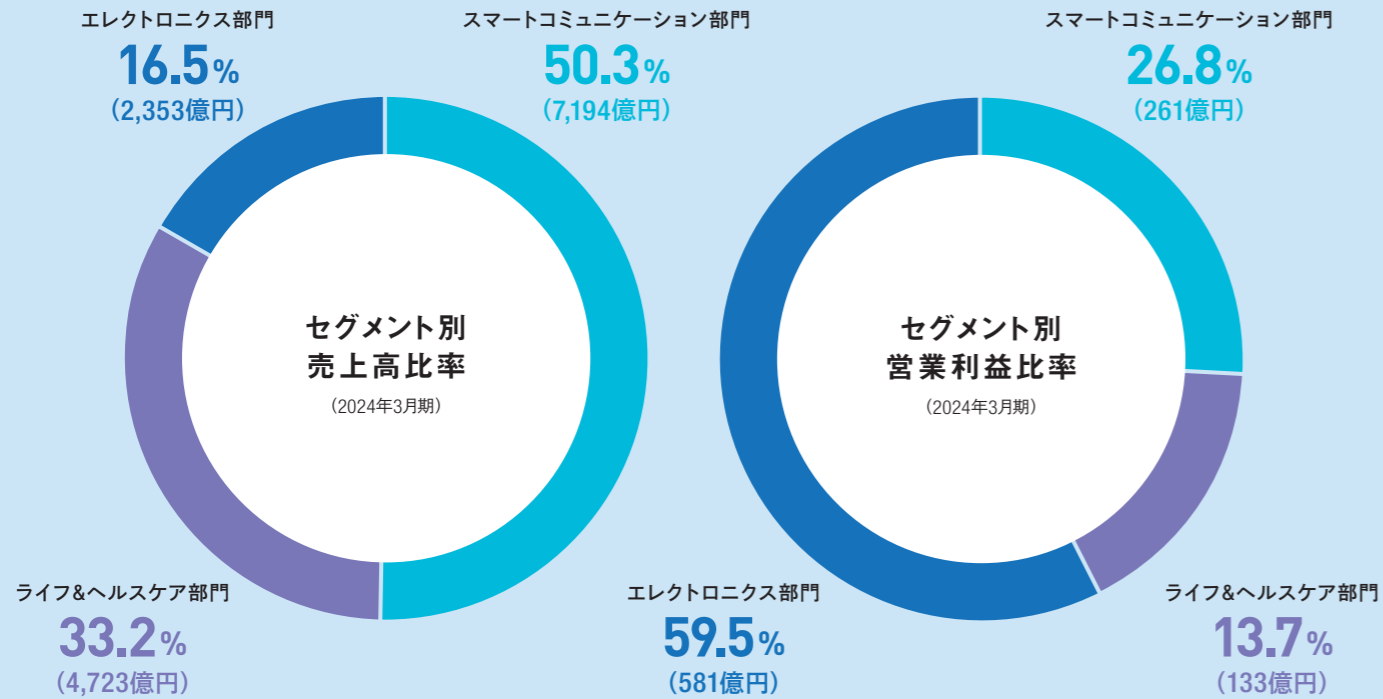


詳細はP16~

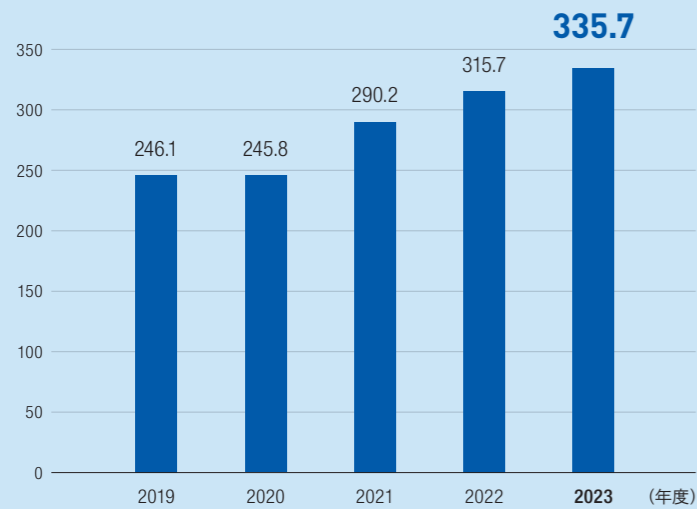
Our Business

DNPの事業概要

「P&Iイノベーション」による トップシェア製品群を世界に展開



DNPの海外売上高 (単位:十億円)



海外拠点数

・営業拠点 **25**カ所

・製造拠点 **18**カ所

国内拠点数

・営業拠点 **33**カ所

・製造拠点 **57**カ所

(2024年4月現在)

事業セグメント

国内外でトップシェアの製品・サービス

スマート コミュニケーション 部門



- ・イメージング
コミュニケーション関連
- ・情報セキュリティ関連
- ・コンテンツ・
XRコミュニケーション関連
- ・マーケティング関連
- ・出版関連
- ・教育関連



国内トップ
ICカード



世界トップ
写真プリント用
昇華型熱転写
記録材



ライフ&ヘルスケア 部門

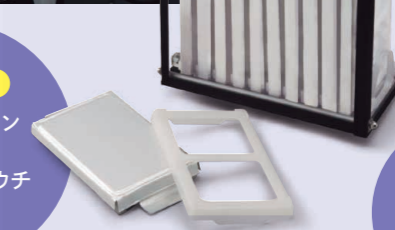


- ・モビリティ・
産業用高機能材関連
- ・医療・ヘルスケア関連
- ・包装関連
- ・生活空間関連
- ・飲料事業



世界トップ

リチウムイオン
電池用
バッテリーパウチ
詳細はP42~



国内トップ
PETボトル用
無菌充填
システム



国内トップ

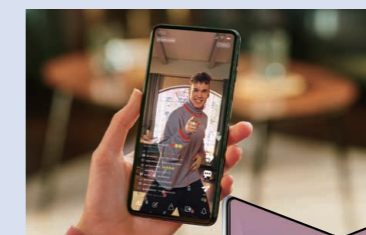
住宅用内外装
化粧材
(床・エクステリア用
フィルム)



エレクトロニクス 部門



- ・デジタルインターフェース関連
- ・半導体関連



世界トップ

ディスプレイ用
光学フィルム*
詳細はP34~



世界トップ

有機EL
ディスプレイ
製造用メタルマスク
詳細はP36~



*ディスプレイ表面用の反射防止フィルムおよび防眩フィルムにおいて

Our Performance

戦略の進捗

最適な事業ポートフォリオに向けて 着実に前進

持続的な事業価値・株主価値の創出を行い、
DNPグループはROE10%を目標に掲げ、PBR1.0倍超の早期実現を目指します。

事業戦略

- 社会課題の解決とメガトレンドに通じる注力事業・新規事業への集中投資と事業構造改革を推進し、事業活動による更なる利益の創出を目指す。
- 事業環境の変化におけるリスクを、コア技術の進化・深耕によって成長機会に転換する。

財務戦略

- 成長投資の原資は、事業活動により生み出すキャッシュ・フローに加え、保有資産の縮減加速を含む資金効率の最大化により創出する。
- 資本効率の改善に向け、過去最大の自己株式取得を計画する。
- 持続的な企業活動のために、財務の安定性を維持しながら、EPS等を意識した株主還元の一層の強化を図る。

非財務戦略

- 人的資本ポリシーに基づき人への投資を拡大する。
- DNP独自の強みと外部連携を活かして知的資本を強化する。
- 「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」実現に貢献する。

	2023年度実績	DNPグループのめざす姿	
事業戦略・財務戦略	営業利益	754 億円	1,300 億円以上
	自己資本	1.1 兆円	1 兆円
	ROE	9.8 %	10 %
部門別事業戦略	■ スマートコミュニケーション部門 セグメント別営業利益比率	26.8 %	21 %
	■ ライフ&ヘルスケア部門 セグメント別営業利益比率	13.7 %	28 %
	■ エレクトロニクス部門 セグメント別営業利益比率	59.5 %	51 %
非財務戦略	人的資本 女性管理職比率	9.4 %	(2025年度目標) 12 %以上
	知的資本 研究開発投資(年間)	352 億円	(2025年度目標) 300 億円規模を継続
	環境 GHG排出量の削減(Scope1+2) 2015年度比(2030年度目標)	▲38.0 %	2019年度比(2030年度目標) ▲46.2 %

「DNPグループ統合報告書2024」目次

DNPグループはどのような会社か	▶ イントロダクション 世界トップシェア製品群が着実に成長	DNPの存在意義と使命 2 DNPの事業概要 4 戦略の進捗 6
DNPグループは今、どのように進化しようとしているか	▶ トップインタビュー この1年の社内外の変化と進化。さらなる飛躍へ	8
DNPグループの強みと価値創造の仕組みとは	▶ 1 DNPグループの価値創造ストーリー P&Iイノベーションの再現性とマテリアリティを明確化	変革の軌跡 14 P&Iイノベーション 16 価値創造プロセス 18 マテリアリティ 20
2023-2025年度中期経営計画の進捗について	▶ 2 事業戦略・財務戦略 成長投資と成長戦略の進捗と展望	事業戦略 22 財務戦略 28
中期経営計画で取り組む“事業の推進”とは	▶ 3 部門別事業戦略 世界トップシェア製品群を着実に育てる	各事業部門の主な戦略 32 成長牽引事業 34 新規事業 44
中期経営計画で取り組む“非財務資本の強化”とは	▶ 4 非財務戦略 次の世界トップシェア製品群を描く	人的資本の強化 48 知的資本の強化 58 デジタルトランスフォーメーション(DX)による価値創造 62 環境への取り組み 64 サプライチェーン全体でのリスクマネジメント強化 72
めざす社会に向けた経営体制とは	▶ 5 経営体制 変革を盤石にするための経営体制の強化	役員一覧 74 コーポレート・ガバナンス 78 社外取締役座談会 82
中期経営計画の目標達成に向けて業績の進捗は	▶ 6 業績・会社情報 2023年度を中心とした業績と株式・会社情報	2024年3月期の業績に関する分析および説明 93 11年間の主要財務データ 100 非財務データ 102 連結財務諸表 104 子会社・関連会社 112 DNPの製品・サービス 114 投資家情報 116 株主・投資家との対話 118 担当役員メッセージ 119

■「DNPグループ統合報告書2024」の編集方針

DNPは、ビジョンを実現し、中長期的に企業価値を高めていくため、財務/非財務の資本を統合的に活かしていく思考に基づき、迅速で的確な意思決定による統合的な企業活動を推進しています。そして、ステークホルダーの皆様の理解と共感につながるよう、適時・適正な情報開示に努めています。

本誌は、財務情報に加え、ESG(環境・社会・ガバナンス)を含めたDNPの事業活動全体について、多面的かつ統合的に編集した年次報告書です。本誌のほか、DNPのWebサイト、有価証券報告書、株主通信、環境報告書等の発行物や、さまざまな対話の機会を通じて説明責任を果たし、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを深めていきます。

- ◇ 報告対象期間：2023年4月1日より2024年3月31日まで。一部のコンテンツについては、本対象期間外の報告も含まれます。
- ◇ 報告対象範囲：DNPグループの全社・全部門
本報告書では、「DNP」はDNPグループ全体を意味しています。「私たち」「我々」という言葉は、DNPまたはDNPの経営陣を意味しています。(なお、P78-81、P85-91の「コーポレート・ガバナンス」では「DNP」は大日本印刷株式会社を指しています。)
- ◇ 発行：2024年8月(次回発行予定：2025年8月)

注記：本報告書は、DNPの企業活動に関する情報の提供を目的としており、記載された意見および予測は、作成時点でのDNPの判断に基づいたもので、これらの情報の完全性を保証するものではありません。